

ヒアブローダークレーンの歴史は、20世紀前半スウェーデンの Eric Sundin というスキー製造業の青年が、ラミネート加工のスキー製作の為に油圧のジャッキとプレスを、材木伐採の為に油圧のクレーンを作ったことに始まります。こうして1944年に Hydrauliska Industri AB が誕生し、トラックエンジンで駆動する油圧のクレーン「HIAB192」を製造しました。ここで生まれたヒアブ方式により、荷役は革新的に進歩しました。

現在の象のマークのロゴを使うようになったのは1970年代で、この頃 Hydraulic Industri AB は Hiab と名を改めました。1990年代に入ると、効率的で安定度の高い SPACE システムを使ったクレーンを発売し、以来120か国以上のお客様からその信頼性を高く評価頂いております。

